

# 北洋銀行のESG地域金融の取り組み

---

2023年3月22日



# 目次



Section.1	北洋銀行のサステナビリティ体制 . . . . .	P2
Section.2	お客さま支援の全体像 . . . . .	P9
Section.3	個別のお客さまへのご支援内容 . . . . .	P13



# 1. 北洋銀行のサステナビリティ体制

---

## 全体像

- 北海道の価値を最大限高めるパートナーを目指し、2020年3月に経営理念を改定。
- 2021年5月には、地域社会・環境の持続的発展に貢献するとともに、当行グループの中長期的な企業価値向上、持続的経営の実現に向け「サステナビリティ方針」を策定。



### 経営理念

お客さま本位を徹底し、  
多様な課題の解決に取り組み、  
北海道の明日をきりひらく

### サステナビリティ方針

- ESG取組方針
- SDGsに係る重点取組テーマ
- 環境・社会に配慮した投融資方針

北洋銀行グループは「経営理念」と「行動規範」に基づく企業活動を通じて、当行グループを支えていただいている全てのステークホルダーと地域社会・環境の持続的発展に貢献するとともに、当行グループの中長期的な企業価値の向上と持続的経営の実現に努めます。

### 中期経営計画

### 行動規範

## サステナビリティ方針①

- サステナビリティ方針を掲げた上で「ESG取組方針」「SDGsに係る重点取組テーマ」「環境・社会に配慮した投融資方針」を策定。
- ESG取組方針では地域の課題やニーズを把握した上で課題解決に取り組むこととしている。

### ESG取組方針

#### 【環境方針】

- 1
  - 美しく豊かな自然環境を維持し次世代へ継承していくことは、我々の責務であり、持続可能な地域社会の実現に不可欠であるとの認識のもと、事業活動を通じて環境負荷低減に貢献するとともに、**生物多様性保全など地域が抱える環境課題の解決に取り組んでまいります。**

#### 【社会貢献方針】

- 2
  - 当行は、地域金融機関として北海道経済の持続的成長に寄与することを責務と考え、金融仲介機能の円滑な発揮や多様なソリューションの提供に努めるとともに、**様々なステークホルダー（利害関係者）が抱える社会的課題の解決に取り組んでまいります。**

#### 【ガバナンス方針】

- 3
  - 様々なステークホルダーと確固たる信頼関係を構築し、より実効的なコーポレートガバナンスを追求していくため、独立社外役員の活用等による公正性・透明性の向上、ならびにコンプライアンス態勢のさらなる強化に取り組んでまいります。

## サステナビリティ方針②

- 重点取組テーマとして、お客さまとの共通価値の創造や、環境保全等への取組みを推進。
- 2022年12月には環境・社会に配慮した投融資方針を策定し、北海道経済の成長に資する分野への積極的な投融資を表明。

### SDGsに係る重点取組テーマ

1

#### 【お客さまとの共通価値の創造】

- ・ **事業性理解(事業性評価)に基づく多様なソリューションの提供**
- ・ 食・観光分野およびモノづくりへの支援



2

#### 【環境保全】

- ・ 自行の環境負荷低減
- ・ **多様な金融商品を活用した環境に配慮する企業、環境成長分野へのサポート**



3

#### 【医療福祉】



4

#### 【教育文化】



5

#### 【ダイバーシティ】



### 環境・社会に配慮した投融資方針

【ポジティブな影響を与える事業への取組方針】

■以下に例示する事業等に対しては、北海道経済の成長に結びつくよう積極的に投融資

- ・ 環境保全や気候変動対応など**環境課題の解決に資する事業**
- ・ **地域経済の持続的発展に資する事業**
- ・ 医療・福祉・教育・ダイバーシティの充実

## TCFD賛同

- 2021年5月に「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）」提言への賛同を表明。
- ポジティブインパクトの増大として環境関連投融資の実行目標額を設定。
- また、ネガティブインパクトの緩和として自行のカーボンニュートラルを宣言。

### ■ 弊行の取組み



脱炭素社会への移行を支援する  
「環境関連投融資」の実行目標額を  
**5,000億円に設定**  
(2021～2030年度の10年間)

当行のCO2排出量を**2030年度までに**  
**2013年度比50%削減**し、2050年  
カーボンニュートラルの実現を目指す

## 推進体制

取締役会

代表取締役頭取

経営会議

成長戦略企画室

- 2023年3月1日に頭取直轄の組織を設置
- GXを起点とした北海道全体の成長に向け、組織横断的な取組みを企画・推進

サステナビリティ委員会

- 2021年6月に頭取を委員長とする組織を設置
- サステナビリティ方針に基づく活動の企画・推進・管理を実施

営業店

本部

ソリューション部

- お客さまのGXに関する支援を実施 (SDGs/脱炭素コンサルティング、サステナブルファイナンス、など)
- 事業性理解、ストラクチャードファイナンス、ビジネスマッチング、事業承継支援等

サステナビリティ推進室

- 弊行におけるサステナビリティの取組みに関する企画・推進・管理を実施

# 成長戦略企画室

成長戦略企画室が北海道の「観光」「食」「GX」における新たな価値を創出

連携

新たな価値創出

国

北海道

札幌市

地方自治体

他金融機関

経済団体等

エネルギー関連企業

その他企業・個人

成長戦略企画室

行政等との連携窓口となり、GXを起点とした横断的な取組みを企画・推進

再エネインフラ誘致

地域施策連携

企業間施策連携

投融资支援  
スキーム構築

ZEH・ZEBの  
推進支援

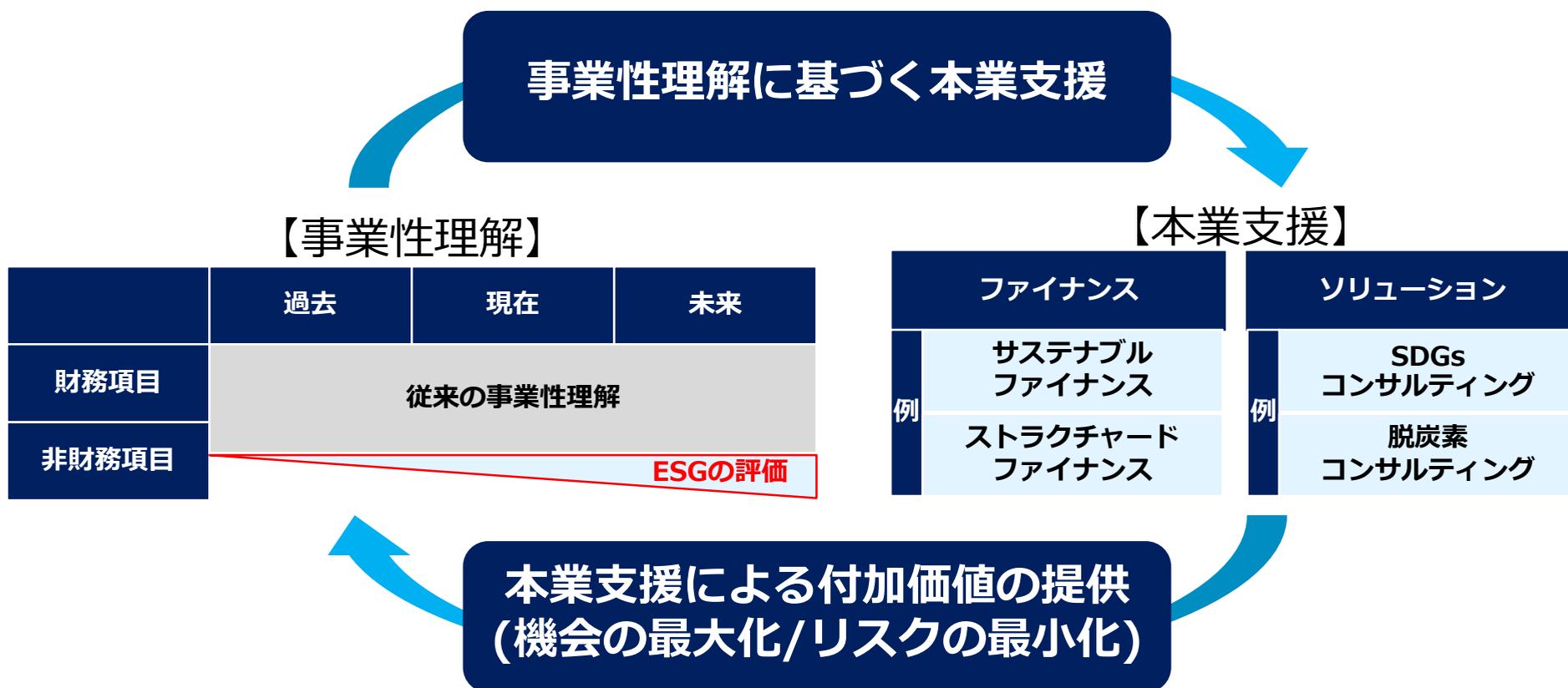
GX人材育成  
・教育支援

## 2. お客様支援の全体像

---

## 北洋銀行が実践するESG地域金融

- 従来の事業性理解に加え、「**ESGの評価(非財務項目)**」にも着目。
- 事業性理解に基づき本業支援(ファイナンス・ソリューション)を行い、お客さまのサステナビリティ経営の実現を支援し、**北海道経済の発展 = “地域のサステナビリティ実現”**に貢献する。



## 環境省のESG地域金融促進事業に対する取り組み

- 持続可能な食産業に向けて、2021年にESG地域金融促進事業に取り組む。
- 酪農・乳業におけるサプライチェーン全体のESG課題を特定しソリューション提供を実施。
- 2022年には食品製造業と家畜飼料製造業のマッチングを実施し、基幹産業の課題解決を支援。

### 概要



- **主要産業である食品産業のサプライチェーンの全体像を理解し**課題を特定。
- 事業性理解をふまえた金融支援、ビジネスマッチング、自治体と連携した支援策を展開。

### ESG地域金融促進事業取り組み後の支援

#### 事例：食品残さを活用した地域課題解決



▲商談会の様子

- 食品製造工場から発生する残さから、家畜用飼料を製造するためのビジネスマッチングを実施。
- 基幹産業である**酪農産業の課題解決(脱炭素・サーキュラーエコノミー等)**を支援。



### 3. 個別のお客さまへのご支援内容

---

## サステナビリティ関連プロダクト

- お客様のESG/SDGs経営への関心度合に応じてプロダクトを用意。
- 何れの商品も、お客様との深い対話＝“エンゲージメント”を通じ、お客様の持続性（サステナビリティ）の向上を目的としている。

お客様のESG/SDGs経営への関心

北洋銀行サポートメニュー

ほくようサステナブル  
経営支援サービス

ほくようサステナブルファイナンス

融資・社債

出資



SDGsコンサルティング  
脱炭素コンサルティング

SDGs宣言サポート

ほくようサステナブルローン

評価書付き融資

<国際原則準拠型>  
GL, SoL, SuL  
SLL, PIF

サステナブル  
経営支援ローン

SDGs  
スタートローン

北洋SDGs  
推進ファンド

# SDGs宣言サポート

- 2021年5月に開始。お客さまに対し、SDGs経営の第一歩を踏み出すきっかけをご提供。
- 500を超えるお客さまにお申し込みをいただく。



## 概要

### 1. 現状分析

- 簡易診断で現状の取組状況を整理

### 2. SDGs宣言書を策定支援

- 取組事項をSDGsゴールと紐づけし、社内の意識醸成や対外的なツールとして活用

### 3. 対外PR

- 当行HPや記者クラブへの投げ込みによるPR支援



## 脱炭素コンサルティング

- 2023年1月に開始。お客さまの脱炭素経営をご支援。
- 食関連分野の企業に対し、ブランド価値を高めるべく脱炭素の取組みを提案中。

### 概要

#### 1. 現状分析

- 算定に必要なデータを収集し、温室効果ガスの排出量を把握

#### 2. 戦略策定・実行

- GHG排出量算定を踏まえた目標設定、削減策の検討・実施
- 気候変動によるリスク・対応策を検討・実施

#### 3. 情報開示・対外PR

- 情報開示を行い、企業イメージの向上、ビジネス機会を創出を支援

### 取組事例

#### 事例1：菓子製造業に対する脱炭素提案

- 北海道を代表する菓子製造事業者に対する脱炭素コンサルティングを提案中。
- 温室効果ガス排出量算定、商品のLCA分析を実施し、ブランドに付加価値をつける支援を行う。

#### 事例2：物流施設に対する脱炭素提案

- 北海道の食材を取扱う大型物流施設に対し、専門人材を活用した物流・脱炭素コンサルティングおよび設備投資を提案中。
- お客さまのSXをすすめ、北海道の「食」を世界に発信する支援を行う。



# ほくようサステナブルローン

- 2021年7月に開始。ESG要素を考慮した、持続可能な経済活動やプロジェクトへの融資。
- ESGウォッシュを排除しつつ、幅広いお客さまへ金融面から環境保全や社会課題の解決に貢献することを目的とする。



## 概要

### ほくようサステナブルローン

分類	「プロジェクト」評価型融資		「企業の取組内容」評価型融資	
商品名	①グリーンローン (GL) ②ソーシャルローン (SoL) ③サステナビリティローン (SuL)	ポジティブインパクト ファイナンス (PIF)	サステナビリティ・ リンク・ローン (SLL)	サステナブル 経営支援ローン
資金用途	設備資金	運転資金・設備資金	運転資金・設備資金	運転資金・設備資金
内容	資金用途が以下に限定 ① <b>グリーンPJ</b> ② <b>社会課題解決PJ</b> ③ <b>グリーン+社会課題解決PJ</b>	<b>SDGsへの貢献を 金融機関が包括的に 評価</b>	<b>野心的なESG関連目標を 設定し達成状況に 応じて金利が連動</b>	<b>ESG関連目標を設定し その有意義性を評価</b>
関連する 国際原則等	①グリーンボンド/ローン原則 ②ソーシャルボンド/ローン原則 ③サステナビリティガイドライン	ポジティブ・インパクト 金融原則	サステナビリティ・リンク・ローン原則	なし (当行独自商品)

# ほくようサステナブルローンの事例①

## グリーンローン (GL) 株式会社鈴木商会様

当行のHPへの掲載(抜粋)

評価書(抜粋) 全10頁

NEWS RELEASE

2022年7月22日

株式会社北洋銀行

各位

株式会社鈴木商会様に対し「グリーンローン」を実行しました

北洋銀行は、株式会社鈴木商会様(北海道札幌市、代表取締役社長: 駒谷 康樹)に対し、「グリーンローン」(以下、本ローン)を実行しました。なお、本件は第一号案件です。

本ローンは、資金使途を環境改善効果のある事業(グリーンプロジェクト)に限定する仕組みの商品です。株式会社格付投資情報センター様より、グリーンローン原則に適合している旨のセカンドオピニオン<sup>※</sup>を取得しています。

本ローンによる調達資金は「海のリサイクル推進プロジェクト(苫小牧プラ・ファクトリー新設工事)」に充当されます。本プロジェクトは道内漁業者から排出される廃漁網(主としてナイロン)について、切断・破砕・圧縮固化などの処理によりペレットを製造、再生原料として販売することで最終処分量の削減に資するものであり、十分な環境改善効果が見込めるとされています。

北洋銀行では今後も、ほくようサステナブルローン等を通じ、北海道を営業基盤とする金融機関として環境・社会面に前向きに取り組むお客さまを支援してまいります。

※株式会社格付投資情報センター様によるセカンドオピニオンは別紙をご参照ください。

【株式会社鈴木商会様の概要】	
所在地	札幌市中央区北4条西4丁目1番地 伊藤・加藤ビル6F
代表者	駒谷 康樹
設立	1953年8月
業種	資源・家電・自動車リサイクル業、アルミ精錬事業 ほか

【本ローンの概要】

実行日	2022年7月22日
融資期間	7年
金額	2億2,000万円

<契約記念の様子>

左: 株式会社鈴木商会 代表取締役社長 駒谷 康樹  
右: 北洋銀行格付投資情報センター 堀田 仁志

北洋銀行グループは、2018年12月「北洋 SDGs 宣言」を表明し、地域の持続的成長と社会との共生の発展に取組んでいます。なお、SDGsに貢献するプロセスには、数社がSDGsのゴールを共有し、取り組んでいます。

【SDGs】2015年の国連サミットで採択された、持続可能な世界を実現するための2030年までの国際目標。17のゴールと169のターゲットで構成されます。

北洋銀行グループ経営理念: お客さま本位を徹底し、多様な課題の解決に取り組み、北海道の未来をきりひらく

R&I

セカンドオピニオン

2022年7月22日

株式会社鈴木商会  
グリーンローンフレームワーク

ESG評価本部  
担当アナリスト: 梶所さやか  
堀田 記

格付投資情報センター (R&I) は、鈴木商会が策定したグリーンローンフレームワークが「グリーンローン原則2021」及び環境省「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン2022年版」に適合していることを確認した。オピニオンは下記の見解に基づいている。

■オピニオン概要

(1)調達資金の使途  
調達資金は道内の漁業者から排出される廃漁網(主としてナイロン漁網)からペレットを製造・販売する「海のリサイクル推進プロジェクト(苫小牧プラ・ファクトリー新設工事)」に対するリファイナンスに充当される。本プロジェクトは北海道から「循環資源利用促進設備整備補助事業」として認められており、投資額の一部が助成金の対象となっていることから調達資金はこの助成金を除く部分に充当される。漁業が盛んな北海道において大量に産出される漁網をマテリアルリサイクルし、自動車の部品(フレーム・シート・ドアパネル)や家電(スイッチカバー、ソケット基盤)などの原料に活用することで廃漁網の処理(焼却)量および最終処分量の削減に貢献する。廃漁網の調達や処理の過程で発生するCO2のほか、想定しているネガティブインパクトへの対策も取られている。当該プロジェクトはSDGsの「12つくる責任」及び「14.海の豊かさを守ろう」の達成に資する取り組みであると位置づけられる。グリーンローン原則の事業区分は、「汚染の防止及び管理に関する事業」に該当する。

(2)プロジェクトの評価と選定のプロセス  
格付投資情報センターは、循環型社会の一翼を担う産業廃棄物処理業の許可を取得するとともにアルミ精錬、家電リサイクル、自動車リサイクルなどへ業務を拡大し、SDGsや環境課題への貢献を見据えた経営に取り組んでいる。対象プロジェクトの選定は「汚染の防止及び管理」即ち現状大部分が最終処分もしくは焼却されている廃漁網を再生資源化する中で廃漁網の処理(焼却)量および最終処分量を削減するというもの、鈴木商会が掲げる環境方針やSDGs取組方針といった包括的な目標に合致している。プロジェクトの選定については鈴木商会のESG2000事業本部と管理本部における協議および取締役会の決議により実施した。プロジェクトの評価・選定は妥当な内部プロセスを経ている。

(3)調達資金の管理  
調達資金は鈴木商会の管理本部財務部が管理する。調達資金は調達と共に金額がプロジェクトに充当される予定であり未充当金は発生しない。万が一未充当資金が生じた場合には短期資金で管理する。監査となる文書等については鈴木商会の文書管理規定に基づき各所管部署にて管理される。調達資金の管理は妥当である。

(4)レポートニング  
鈴木商会は資金充当状況と環境改善効果に関するレポートを年次で貸付人に報告するとともにウェブサイトに開示する。環境改善効果の開示内容は年間の廃漁網受入量と再生ペレット生産量の削減及び再生資源化率である。

株式会社格付投資情報センター  
Copyright© 2022 Rating and Investment Information, Inc. All rights reserved.

TEL: 03-6272-7471  
〒100-0001 東京都千代田区千代田三丁目2番5号 アズビルビル(お茶の水駅)2F  
R&Iは、借入先が本プロジェクトの進捗状況や環境改善効果に関する報告を定期的に提供し、環境改善効果の検証を行うことにより、SDGsの達成に貢献することを期待しています。また、R&Iは、借入先が本プロジェクトの進捗状況や環境改善効果に関する報告を定期的に提供し、環境改善効果の検証を行うことにより、SDGsの達成に貢献することを期待しています。また、R&Iは、借入先が本プロジェクトの進捗状況や環境改善効果に関する報告を定期的に提供し、環境改善効果の検証を行うことにより、SDGsの達成に貢献することを期待しています。

セカンドオピニオン

1. 調達資金の使途

(1)対象プロジェクト

- 対象プロジェクトは以下に示す高プラスチックのリサイクル設備にて道内の漁業者から排出される廃漁網(主としてナイロン漁網)からペレットを製造・販売するというもの。

対象プロジェクト	事業区分
海のリサイクル推進プロジェクト (苫小牧プラ・ファクトリー新設工事)	汚染の防止及び管理に関する事業

【導入する設備の概要】

実施場所	苫小牧市樽川町43番地64号
事業内容	道内漁業者から排出される廃漁網を回収し、切断・破砕・圧縮固化などの処理によりペレットを製造、再生原料として販売する。
導入設備	切断機、洗浄機、粉砕機、造粒機、ベルトコンベアー、計量器、受電設備等
処理能力	4.8t/日(最大)
工期期間	2021年6月着手、2022年4月竣工
許認可	産業廃棄物処理業許可取得済み(廃棄物処理法)

【鈴木商会グリーンローンフレームワーク、会社提出資料より作成】

- プロジェクトの総額は3.36億円。北海道から「循環資源利用促進設備整備補助事業」として認められた投資額の一部が補助金(北海道補助金)で賄われることになっており、この補助金を除く短期借入金2.2億円をグリーンローンでリファイナンスする。フルペック期間は2年である。
- 調達資金の使途は鈴木商会が策定したグリーンローンフレームワークの中で貸付人に対して事前に説明がなされている。

(2)環境改善効果

- 平成30年度から令和2年度における北海道の廃漁網量の3年平均は年間約1,874トン。のうち①処理処分率は74.1%、②処理(焼却)率が13.5%となっている。本プロジェクトはこうした廃漁網を対象に年間最大1,340tを受け入れ可能な設備を整備するもの。
- 鈴木商会は排出者である各漁業者や漁協などの関係団体と連携を強化し、道内処理業者と協同で収集体制を構築したりすることで回収量の向上に努める方針。年間1,340tの廃漁網の調達に挑みながら環境改善効果の実現に取り組む。

※北海道水産庁水産資源課より「令和2年度水産資源廃棄物発生量等調査(令和元年度発生分)」をもとに算定。

- 本事例では、廃漁網から自動車部品等の材料を精製する**マテリアルリサイクル**に対する設備投資に対し、GLをご利用。
- GLでは、**対象設備が環境に良いこと及び設備投資を行うことによる具体的な環境改善効果**をPRすることができる。



# ほくようサステナブルローンの事例③

## ポジティブインパクトファイナンス (PIF) 株式会社土屋ホールディングス様

当行のHPへの掲載(抜粋)

評価書(抜粋) 全30頁

**NEWS RELEASE** 北洋銀行

2023年3月14日

株式会社北洋銀行

各位

株式会社土屋ホールディングス様と「ポジティブインパクトファイナンス」の契約を締結しました

北洋銀行は、株式会社土屋ホールディングス様(北海道札幌市、代表取締役:土屋 昌三様)と「ポジティブインパクトファイナンス」(以下、本ファイナンス)の契約を締結しました。

本ファイナンスは、企業活動が環境・社会・経済にもたらすインパクトを包括的に分析・評価し、ネガティブインパクトの緩和とポジティブインパクトの拡大について目標を設定し、その実現に向けた継続的な対話や支援を重視することでSDGs達成に貢献していく金融手法です。当行は、国連環境計画金融イニシアチブが提唱するポジティブインパクト金融原則に基づき、「ポジティブインパクトファイナンス評価書」を発行し、株式会社格付投資情報センター様から第三者評価として「セカンドオピニオン」を取得しています。

本件では、コア・インパクトの一つを「最高水準の省エネ住宅の提供」と特定し、カーボニュートラルやロシアのウクライナ侵略に伴うエネルギー価格の上昇に伴う光熱費の高騰等の社会課題に対し、最高水準の省エネ住宅の供給により、環境・社会へ好影響を与えている点を評価させていただきます。

北洋銀行では、企業活動を通じて社会課題の解決を図るお客さまやプロジェクトを積極的に支援し、脱炭素社会の実現やSDGsの達成に貢献してまいります。

※「ポジティブインパクトファイナンス評価書」及び「セカンドオピニオン」は別紙をご参照ください。

**【株式会社土屋ホールディングス様の概要】**

所在地	札幌市北区3条3丁目7番地 土屋ホーム札幌北九条ビル
代表者	土屋 昌三様
設立	1976年9月
業種	建設業を営む事業会社の支配・管理 及びコンサルタント業務

**【本ファイナンスの概要】**

実行日	2023年3月16日
期間	7年
金額	20億円
資金使途	運転資金

**【契約記念の様子】**

左:株式会社土屋ホールディングス 代表取締役 土屋 昌三 様  
右:北洋銀行 専務取締役本部長 増田 仁志

以上

北洋銀行グループは、2018年12月「北洋SDGs宣言」を表明し、地域の持続的成長と社会課題の解決に取り組んでまいりました。なお、SDGsに関連するグループには、該当するSDGsのアイコンを併用しております。  
【SDGs】は国の政策や中核で採択された、持続可能な世界を実現するための2030年までの国際目標。17のゴールと169のターゲットで構成される。

北洋銀行グループ経営理念:お客さま本位を徹底し、多様な課題の解決に取り組み、北海道の明日をきりひらく

ポジティブインパクトファイナンス評価書 北洋銀行

**(3) 企業理念**

土屋グループは、「企業理念」を軸に「ミッション」「ビジョン」を掲げ、ステークホルダーに対する価値創造に向け事業を営んでいる。また、創業者が考案した「行動の基本指針」を、社内研修や紙礼の場にも活用し、社内浸透を図っている。

土屋グループの企業使命

「豊かさを創造する」

土屋グループは、住宅産業を通してお客様・社会・会社の「三つの人の為」のために貢献し、地域の「健康な暮らし」を創出する。また、創業者が考案した「行動の基本指針」を、社内研修や紙礼の場にも活用し、社内浸透を図っている。

土屋グループの企業使命:「豊かさを創造する」

住宅産業を通じて、お客様、社会、会社という「三つの公」の為に物理的・精神的・健康的な豊かさを創造する。

【ビジョン】  
北海道の美しい気象環境で鍛え上げられた、木の特性を活かした高断熱・高気密・高耐久の住宅建築技術を日本全国に広め、脱炭素社会の実現に貢献していく。

【行動の基本指針】  
土屋グループ「行動の基本指針」:「顧客第一主義の徹底と一人当たり生産性の向上」> (行動実施) 1. 超一流企業を目指す基本動作の継続と自己啓発

**(4) サステナビリティ方針**

土屋ホールディングスは、事業を通じて「お客様の豊かさを創造すること」(脱炭素社会の実現に貢献すること)を目指し、「サステナビリティ経営方針」を策定した。高質化する環境問題、変動する社会課題や企業の社会的責任の重要性の高まりに対応すべく、「世界トップクラスの省エネ住宅の提供」、「高品質な住まいの提供」、「ダイバーシティの推進」、「環境負荷の削減」及び「サステナビリティ経営の実践」を重要課題とし、それらに結びつく取組内容や目標・KPIを定め、事業を通じて持続可能な社会の実現に貢献することを目指している。

株式会社 土屋ホールディングス  
サステナビリティ経営方針

環境・社会・経済の観点から、持続可能な社会の実現に貢献することを目指す。高質化する環境問題、変動する社会課題や企業の社会的責任の重要性の高まりに対応すべく、「世界トップクラスの省エネ住宅の提供」、「高品質な住まいの提供」、「ダイバーシティの推進」、「環境負荷の削減」及び「サステナビリティ経営の実践」を重要課題とし、それらに結びつく取組内容や目標・KPIを定め、事業を通じて持続可能な社会の実現に貢献することを目指す。

ポジティブインパクトファイナンス評価書 北洋銀行

■当社の事業が与えるインパクトのマッピング (UNEP PFIインパクトリーダー)  
下図によりマッピング内容を可視化した。インパクトカテゴリのうち、黄色塗りされた箇所は(リ)ユーチュエーション分析により特定されたカテゴリである。また、各事業において想定されるPI及びNIをインパクトリーダーから抽出している。

国際標準産業分類 (業種)	建設事業		自己所有物件		料金制または自己所有物件または賃借物件	
	PI	NI	PI	NI	PI	NI
水						
食糧						
気候						
健康・衛生						
教育						
雇用						
エネルギー						
移動手段						
物種						
文化・伝統						
人格と人の安全保障						
強固な制度・平和・安定						
水 (質)						
大気						
土壌						
生物多様性と生態系サービス						
資源効率・安全性						
気候						
廃棄物						
包括的で健全な経済						
経済成長						

PI: ポジティブインパクト, NI: ネガティブインパクト

**3. インパクトの評価**

特定されたインパクトに対し、インパクトの種類 (ポジティブインパクト)の創出可能性、ネガティブインパクトの緩和・管理、インパクトカテゴリ、関連するSDGs、内容、対応方針及び目標とKPIを整理する。

**A. 国内最高水準の省エネ住宅の提供: コア・インパクト**

インパクトの種類	環境の側面においてポジティブインパクトを創出
インパクトカテゴリ	【住居】 【健康・衛生】 【エネルギー】 【包括的で健全な経済】
関連するSDGs	7, 11, 13, 15, 17
内容・対応方針	① 高断熱・高気密・高耐久住宅の提供 ② 高断熱・高気密・高耐久を中心とした環境配慮型リフォームの提供 ③ 2025/10期までにZEH割合を国内95%・海外70%にする ④ 国内材料使用率を2025/10期までに60%・2027/10期までに100%にする ⑤ 2030/10期までに木造4層建てマンションLCAPEACEを100件受注する ⑥ 2025/10期までに環境配慮型リフォームを50件/年受注する
目標とKPI	

- 本事例では、事業を通じた社会課題への対応として**最高水準の省エネ住宅の提供等をインパクト**とし、PIFを利用。
- PIFでは、環境・社会・経済の観点で包括的な評価が受けられ、関連目標に注力することで企業価値の向上に繋がる。

ご清聴ありがとうございました

**“ESG・SDGs・サステナビリティに困ったら北洋銀行に相談しよう”**

**と思ってもらえるパートナーを目指します**

